

令和4年度競技団体の組織基盤強化支援事業 採択団体の事業概要

No.	団体名	事業名	事業概要
1	一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会	ノーマライゼーション・トレーニング商品化	・聴覚障がい者の内耳特性によるバランス感覚の弱さ、発声環境が影響する低い呼吸能力、そして低下しやすい集中力。これらの課題の解消及び強化方法は、一般の健常者及び他の障がい者にも有効であることから、専門家の知見及び指導の下、汎用的なトレーニングノウハウ商品として、ノーマライゼーション・トレーニングを開発する。 ・他のスポーツ団体、障がい児童支援施設、フィットネスジム等への採用を目指したBtoB事業化を図る。
2	公益財団法人全日本空手道連盟	経営基盤強化プラン	・YouTube強化（全国大会配信、自由視点映像等）及びKarate Statsを利用し、競技価値向上（見せ方改善）を図る。 ・視聴者ターゲットを定め、それぞれに適した大会フォーマットや会場の選択、演出の導入等により、空手の新たな競技価値創出を図る。 ・外部人材を活用し、事業目的に即した人材強化を実現する。
3	公益財団法人日本サッカー協会	普及・育成事業領域の価値向上基盤整備事業	・社会的インパクト評価として、サッカー・スポーツの社会的価値を可視化し、サッカー・スポーツの公共財としての地位確立や官民投資の拡大を通じたサッカーの普及・育成事業の充実を目指す。 ・育成年代の選手活動、各種計測結果を統合管理し、データの蓄積・可視化・分析を通じた効果的かつ一貫性を持った選手育成のロールモデルを作成するとともに、トレセン・代表等の招集歴及び活動評価を一元管理することで、スカウティングの質の向上を図る。
4	公益財団法人日本セーリング連盟	人材活用・情報プラットフォーム構築・マーケティング能力向上による組織基盤強化事業	・会員に対する動向・マーケティング把握のウェブアンケート調査を実施・集計、分析し、ビジョン・中長期的戦略のための基礎調査を実施する。 ・会員登録・ログ・スタッツ情報、加盟団体情報、大会情報等を一元化する組織情報プラットフォームの概要設計を実施する。 ・最新技術を活用した競技の多様な価値創出に向け、競技大会のトラッキングを含めた観戦システム及び新たなレースフォーマット等を開発し、実レースでのトライアルを実施する。 ・自然スポーツの特性を生かしたサステナビリティ/SDGsに関する協働型アクティベーション企画、パラセーリング体験を通じた企業のDEI研修プログラムのデザイン・開発を実施する。 ・マーケティング戦略策定・推進人材、セールス人材、戦略的広報人材を登用する。
5	公益財団法人日本陸上競技連盟	JAAF REFORM推進事業	・会員管理サービスシステムを一新し、登録会員と記録・ライフログを紐づけし、大会エントリーシステムのプラットフォームを構築することにより、大会管理や講習会イベント管理・募集をシステム化する。 ・陸上ファンが選手のパフォーマンスを観戦できるライブ感を味わうことができ、観ている人に感動や心を動かすコンテンツになるよう、臨場感や迫力のある映像配信を行う。 ・陸上の多様なコンテンツを生かし、アスレチック要素を楽しむことができる「キッズデカスロンチャレンジ」というイベントを実施し、体を動かす楽しさや、スポーツに興味を持ってもらうきっかけづくりを行う。
6	公益社団法人日本トライアスロン連合	「トライアスロン＝健康スポーツ計画」経営基盤強化事業	・策定済みの中長期戦略について、収益力強化に向けた普及戦略の見直しを実施する。 ・デジタルプラットフォームについて、サービス開発、ベンダーへの開発管理・サービスの分析効果検証、バーチャルサービスとの連携、健康管理アプリとのシステム連携の検証等を行う。 ・クラウド型基幹システムの整備・経費精算システムの導入等により、業務効率の向上によるコスト削減と人材リソースの有効活用を図る。
7	公益社団法人日本ボート協会	RowingにおけるLTV最大化に向けたプラットフォーム構築事業	・DX推進による抜本的な運営方針の転換を図り（新たな事業創成や既存大会の運営の効率化など）、新たなプラットフォーム構築による収益および競技人口の増加を目指す。 ・パラローイング、コースタルローイングなど比較的新しくローイング競技に関わる層にとっても、新たなプラットフォームを活用し競技継続につながるシステムを目指し登録料や事業収入に確実につなげる。
8	公益社団法人日本ホッケー協会	ホッケー組織基盤強化支援事業	・会計システムのクラウド化、承認・ワークフローシステムのデジタル化、業務フローのマニュアル化等により業務効率化を図る。 ・リアルタイムスポーツ観戦アプリの導入、リアルタイム配信体制の構築、解説者育成講座・スポーツアナリスト育成講座の開講等により、競技の多様な価値創出を行う。 ・構築済みの会員登録システムの安定運用と、データベースのプラットフォームを活用した会員向けマーケティング施策の拡充により、競技普及を図る。 ・ホッケー界を牽引していく人材の発掘・育成を目的とした全国会議を開催する。 ・デジタルに関わる取組全般のマネジメント及びディレクションを実施するため、マネジメント人材を活用する。
9	公益社団法人日本ライフル射撃協会	競技価値創出による組織力・経営力強化事業	・VR、AR等の最新テクノロジーを活用した競技プログラムを開発し、競技のエンタテインメント性を拡充して、競技普及を図る。 ・共生スポーツ体験として、ビームスポーツ射撃銃による体験会を定期的に開催する。 ・射撃動作が一定の脳活性化効能があることを活かし、健康・共生というポジティブな視点を活かした競技価値を広め、多角的なマーケティングプログラムによるビジネスモデルを確立する。 ・各プロジェクトをマネジメントするために、マネジメント人材を活用する。
10	公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会	安全登山奨励、スポーツクライミング及び山岳スポーツ競技における選手育成・普及・教育等の実施実現にむけた施策及びデジタルプラットフォーム事業の策定	・語学力、プレゼンテーション力、会計知識、食育・栄養、公共機関及び民間企業就職に役立つ資格取得サポートにつながるような、ユース世代向けのキャリアアップシステムを構築する。 ・登山者、山岳スポーツ競技者・各種指導者のデジタルプラットフォームを構築し、蓄積されたデータを安全登山の徹底、登山計画・記録の把握、山岳スポーツマーケティング戦略の立案、スポンサーシップの開拓、新規事業構築、各種目普及事業の拡大、アスリートセカンドキャリアの啓蒙等に活用する。
11	特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会	サクセッションのための組織基盤構築事業	・外部コンサルティング企業を活用し、複合化している協会の経営課題の整理及び中期計画のブラッシュアップを行う。 ・人事評価制度をデジタル化するとともに、既に運用されている人事評価制度を改善し、運用効率化のためのシステムを導入する。 ・次世代経営人材、幹部人材の育成のための、半年間を通じた研修プログラムを実施する。

<条件付き採択団体> 令和4年12月追加

12	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会	新規取得施設における運営基盤整備事業	・新規に取得した施設において、代表チーム、ユース代表、一般利用者から得られるデータ等を有効活用し、ホスピタリティ事業やスポンサー獲得を効果的に設計することで新たな収益事業を展開する。 ・スタッフが個別に管理していたエリート選手のフィジカルデータを一元的に管理することで、データインフラを整備し、スタッフの業務改善を行う。
----	----------------------	--------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------